

問しました。先生は必ずご令息と車にて下見され、現地の案内には手土産を持参されるばかりか、ご自分も研修旅行会費を出すと言われて我々を困らせるなど、誠実できつちりとした性格にいつも敬服したものであります。

「会津のキリスト遺跡」ワンポイントガイドなどにまとめられた資料や原稿がご自宅に山積みと伺っています。研修旅行はBSAの人気イベントとして延べ700名が参加しました。天国でも多くの研究材料と出会つておられる事でしよう。

安らかにお休みください。主に感謝

ビジョン広場 わたしの教名

清里聖アンデレ教会
テレジア 安達美樹
私が洗礼の恵みに預かったのは、2002年のクリスマスです。教母の方の教名「(小さき花の)テレジア」をいただきました。「(小さき花の)テレジア」(リジーのテレジア)は自分のことをひな鳥や小さい花と呼び、自分の弱さをひたすら受け入れたと言っています。「テレジア」という教名をいただいた時の喜びは忘れられませ

正巳(日本聖公会司祭)名親は、

山田 哲氏(主教山田襄氏の奥

出がよみがえります。出会いは1999年の冬、キープ協会主催の「おむすび食がむすぶもの」というエコロジーキャンプなど、眞氏で中学1年の頃だと思いま

トを知ったのはペテロに出会つたからだと後で知り、今所属している教会が「聖ペテロ教会」を受けて了。

阿佐ヶ谷聖ペテロ教会
コルネリオ 八木達郎
母の言葉は心の大きな支えとな

る。また、教母との大切な思い出がよみがえります。出会いは1999年の冬、キープ協会主催の「おむすび食がむすぶもの」というエコロジーキャンプなど、眞氏で中学1年の頃だと思いま

トを知ったのはペテロに出会つたからだと後で知り、今所属して

いる教会が「聖ペテロ教会」

のこともみんなで分かち合います。

清里の森の中で共に過ごした4

日間。自分の無力さや先のこと

に不安や悩みを募らせていた時

に「今を精一杯生きていれば大

丈夫」と言つてくださつた教

父の言葉は心の大きな支えとな

り、どんな時も感謝の心をもつ

て小さな一步を踏みしめて歩ん

でいこうと心に誓いました。こ

れからもいただいた教名を大切

にし、聖テレジアの言葉に少し

でも近づけるように、神さまの

み前で小さく貧しくとどまるこ

と、神さまを信頼してお任せす

る道を歩んでまいりたいと思いま

ます。(BSA賛助会員)

清里聖アンデレ教会
南町田支部

イレニウス 側垣 望

小生の教名は、イレニウス

(エイレナイス)と云います。

好み抗争を和げるよう努力し

た。主著『異教徒反駁』は、正

本年度より、公益財団法人

ペテロ教会の、かつて信徒運動

で一緒した村守直芳さんを訪

ねて行くよう」に言われ、同教

会へ行つた。

東京築地にあります聖路加国際

大学で看護教育に携わつており

ます。看護学部の新入生は、4

年目でまつすぐ看護師に向か

つた。こちらの問い合わせに、大き

な皮膚と産毛に、点滴ライン

を糸創膏で留めたり外したりす

るが、痛々しくお氣の毒でし

た。どちらの問い合わせに、大き

な目でまつすぐ看護師に向か

つた。こちらの問い合わせに、大き

な皮膚と産毛に、点滴ライン

を糸創膏で留めたり外したりす

るが、痛々しくお氣の毒でし

た。どちらの問い合わせに、大き

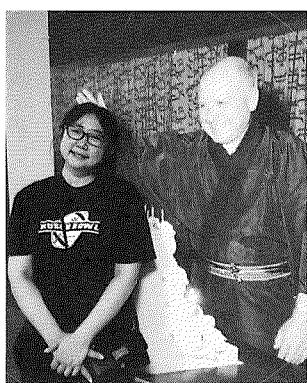
な皮膚と産毛に、点滴ライン

を糸創膏で留めたり外

清里高原だより 清泉寮——ユース

「ポール・ラッシュ記念館」を見つめ直す
節目の年にあたり、

秋晴れの重陽の節句9月9日、秦英水子(はたえみこ)副館長が、ポール・ラッシュ記念館の館長に就任いたしました。いろいろな節目の年を迎えるこの機会に、新館長へのインタビューを通して、ポール・ラッシュ記念館(以下、記念館)を再考してみたいと思います。



※パネルのラッシュ博士に頭を撫でられてご満悦の秦英水子
新館長

——記念館について簡単に紹介ください。
前館長桑田秋光理事の後任として、館長を拝命いたしました秦英水子と申します。キープ協会、ポール・ラッシュの精神を継承する重要な施設の大役を賜りました。まだまだ力不足ではございますが、精一杯精進してまいりますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻をよろしくお願い申上げます。

記念館は、ラッシュ没後、ラッシュの記録と記憶を後世に遺す目的で、彼の居宅を当時の姿そのままに保存・公開する形で、

——記念館に期待される役割はなんだと考えますか?
ラッシュの功績は、当館が建つ契機を作ってくれた井尻俊之さんによる「ポール・ラッシュ伝」や、松平先生と北條先生が訳されたヘンフィル女史による『キープへの道』にも詳しく述べられています。想力と行動力と不屈の精神によって成されたものです。

記念館の担う人物顕彰館として、館長を拝命いたしました秦英水子と申します。キープ協会、ポール・ラッシュの精神を継承する重要な施設の大役を賜りました。まだまだ力不足ではございますが、精一杯精進してまいりますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻をよろしくお願い申上げます。

記念館は、ラッシュ没後、ラッシュの記録と記憶を後世に遺す目的で、彼の居宅を当時の姿そのままに保存・公開する形で、

——併設のラッシュの旧宅が、今年築60年を迎えました。
ポール・ラッシュ邸は1964年、東京オリンピックの年に完成しています。1950年代後半からラッシュにはセレブリティのお客様が訪れるようになります。たが、暮らしていた小さなキャビンではお客様をお招きすることができ困難でした。それを知った支援者から、「それでは眞の友人になれない、あなたには迎賓館がない。」当時のお写真などがありましたが、ただますと、後世の人たちの定款変更の進め方について、他

——最後にBSA会員の皆様へのメッセージをお願いします。
BSA会員の皆様は、ラッシュやキープ協会のことに詳しい方々ばかりですので、ぜひまた清里にお越しいただき、清里や近隣の弘道所での活動の思い出などを私たちにご教示ください。当時のお写真などがありましたが、ただますと、後世の人たちのための資料となりますので、ご協力をいただけました幸いで

新たに隣接して建てた資料棟と合わせて1996年に開館しました。再来年には開館30年の節目の年を迎えます。当館は、博物館法に基づいた登録博物館で、ラッシュとキープ協会に関する資料の収集・保管、展示、調査研究、教育普及活動に資するために必要な事業を担う施設です。また、館内に併設されている「日本アメリカンフットボールの殿堂」を公益社団法人日本アメリカンフットボール協会様からお預かりし、殿堂委員の方々と協力をして運営をしております。

※ラッシュ博士旧宅の趣ある執務室

います。新たな資料で発見したことも含め、展示や講座などを通して、キープ協会のスタッフはもちろんですが、地域の若者や我々を応援してくださるすべての方々に伝えることが当館の使命だと思っております。

ままの趣を今に伝えています。しかし、石積みの土台は激しい損傷が生じ、早急な手当てが必要となるなど、建物の保存や維持管理に大きな課題を抱えております。多くの方々にご支援をお願いさせていただいておりま

す。
年という記念年を迎えるポール・ラッシュは、館長にとってどのようない存在ですか?
非常に魅力的な人間です。若い頃の挫折、人生の転機をしっかりと好機としていく才、人を喜ばせるために全力投球する姿、若者に希望を与えるために全てを捧げる覚悟、それらすべてが彼の魅力となっています。その姿に実際に触れた方々からは、「ポールおやじは神様のように崇められることが一番嬉しい」といった感想が多かったです。右の手でしたことを左の手に伝えない人だった。それが忘れない人だった。それがあたって、私はこの言葉を心にいつも置いています。

——来年2025年には来日100年という記念年を迎えるポール・ラッシュは、館長にとってどのようない存在ですか?
非常に魅力的な人間です。若い頃の挫折、人生の転機をしっかりと好機としていく才、人を喜ばせるために全力投球する姿、若者に希望を与えるために全てを捧げる覚悟、それらすべてが彼の魅力となっています。その姿に実際に触れた方々からは、「ポールおやじは神様のように崇められることが一番嬉しい」といった感想が多かったです。右の手でしたことを左の手に伝えない人だった。それがあたって、私はこの言葉を心にいつも置いています。

——最後にBSA会員の皆様へのメッセージをお願いします。
BSA会員の皆様は、ラッシュやキープ協会のことに詳しい方々ばかりですので、ぜひまた清里にお越しいただき、清里や近隣の弘道所での活動の思い出などを私たちにご教示ください。当時のお写真などがありましたが、ただますと、後世の人たちのための資料となりますので、ご協力をいただけました幸いで

す。

2027年はBSA100周年

7月19日(金)
理事会開催記録
トト 計報
モニカ 小澤 きみ姉
(103歳)
(賛助会員)
5月10日逝去
クレメント 國見 登兄
(94歳)
(評議員)
7月21日逝去
ステバノ 渡邊 雄介兄
(43歳)
(市川聖マリヤ教会信徒)
8月11日逝去

編集後記

・本年1月、大地震に見舞われた能登半島に今度は豪雨激甚災害。

10月にまで及んだいつでも続く猛暑といい、熱帯地方ばかりのギリラ豪雨といい過去をなぞれない時代となっていました。

そんな中、2024年のノベル平和賞が日本被団協(日本原水爆被害者団体協議会)に与えられたというニュースが飛び込んできました。政治の問題ではなく、平和の問題、命の問題として、平和を希求する立場を皆でとりたいもの

VISION 文芸

【雲辺】ミカエル 松岡正治

アブラハム 野田 徹

会堂の小さき窓や稻光
誰も居ぬ外人墓地や草紅葉
稲刈りや幼馴染も加わりて

疎開せし頃の写真や菊日和
教会の牧師転勤松手入れ

五年ぶりバザーに集う顔と顔
虫鳴いて昨日の猛暑そと消え
我とリス同じ味覚を分かち合い